

日本育種学会 第114回講演会プログラム

2008年秋季 滋賀県立大学

大会本部 (TEL : 080-1351-3193 or 090-4760-4164 期間中のみ)

10月10日 (金)	午後	幹事会 14:00-18:00 (会議室: 交流センター 1F研修室3, 4)						
		第1会場 交流センター	第2会場 A3-301	第3会場 A4-205	第4会場 A2-201	第5会場 A2-202	第6会場 A1-301	第7会場 A1-302
10月11日 (土)	午前	ゲノム解析	発育生理	遺伝子 蛋白質	変異創成	変異解析	遺伝資源 系統分化	抵抗性 品質成分
		101-113 9:00-12:15	201-213 9:00-12:15	301-313 9:00-12:15	401-413 9:00-12:15	501-513 9:00-12:15	601-613 9:00-12:15	701-713 9:00-12:15
	午後	ポスター (奇数番号) 12:50-13:50 (交流センター ホワイエ)						
50回記念シンポジウム 14:00-17:30 I. 育種学最近のトピックス (第1会場、交流センター) II. 動植物育種の到達点と目標 (第5会場、A2-202)								
		懇親会 19:00-21:00 (彦根プリンスホテル)						
10月12日 (日)	午前	ゲノム解析	発育生理	遺伝子 蛋白質	変異創成	変異解析 514 8:45-9:00	遺伝資源 系統分化 614-619 8:45-10:15	抵抗性 品質成分 714-725 8:45-11:45
		114-125 8:45-11:45	214-223 8:45-11:15	314-324 8:45-11:30	414-424 8:45-11:30	品種育成 515-524 9:00-11:30	発育生理 620-622 10:15-11:00	
	午後	ポスター (偶数番号) 12:45-13:45 (交流センター ホワイエ)						
シンポジウム 14:00-17:30 I. 東南アジアにおけるイネ育種の現場と地球環境変動化における今後のイネ育種課題 (第5会場、A2-202) II. 稔性回復遺伝子の多様性と進化 (第2会場、A3-301) III. 植物育種におけるオミックス情報の利用と展望 (第1会場、交流センター) IV. 育種における細胞遺伝学 (第3会場、A4-205)								
		グループ研究集会 18:00-20:00 (交流センター2F研修室5, 6, 7, 8)						
10月13日 (月・祝)	午後	公開シンポジウム 13:30-16:30 (交流センターホール) 「環境問題解決における植物バイオテクノロジーの役割」 1. 環境問題に対する植物遺伝育種学の関わり 藤村達人 (筑波大) 2. 夢のルピスコ-光合成機能を向上させた新植物の可能性 横田明徳 (奈良先端大) 3. 植物を用いた環境浄化-重金属の除去 吉原利一 (電力中央研究所) 4. バイオエネルギー資源作物の開発と利用 荒木均 (作物研究所) 5. 環境問題解決に有用な植物の開発-滋賀県の研究例 長谷川 博 (滋賀県立大) 6. 総合討論						

10月10日	幹事会 (会議室：交流センター 1F 研修室3,4)
14:00 ↓	
18:00	

1日目(10月11日)午前			
10月11日	第1会場(交流センター)	第2会場(A3-301教室)	第3会場(A4-205教室)
	◆座長 貴島祐治 (北大)	◆座長 村井耕二 (福井県大)	◆座長 近藤勝彦 (生物研)
9:00	101 Molecular and morphological evaluation of doubled haploid lines derived from anther culture of indica (PSBRc 10) x japonica (Nipponbare) rice hybrids. OV. Lapitan 1, 3・E. Redona 2・D. Brar 2・阿部利徳 3(1. PhilRice 2. IRR3. 山形大農)	201 イネ亜種間交雑で生殖的隔離障壁となる重複遺伝子の解析 ○水多陽子 1, 2・春島嘉章 1・倉田のり 1, 2(1. 遺伝研 2. 総研大院生命科学)	301 ギニアグラス未熟子房における有性生殖個体とアポミクシス個体での遺伝子発現の差異 ○山田-秋山仁美・秋山征夫・蝦名真澄・飯村敬二・高原学・高溝正・杉田紳一(畜産草地研究所)
9:15	102 ナス染色体部分置換系統群の育成と単為結果性遺伝子座の詳細マッピング ○宮武宏治・齋藤猛雄・根来里美・山口博隆・布目司・大山暁男・福岡浩之(農研機構野菜茶研)	202 イネのシュート形成における極長鎖脂肪酸(VLCFA)の機能解析 ○津田勝利 1・伊藤幸博 2・宮尾安藝雄 3・廣近洋彦 3・倉田のり 1(1. 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室 2. 東北大学大学院 農学研究科 3. 農業生物資源研究所)	302 組換え低フィチン米における穂の着生位置による導入遺伝子効果の差異 ○桑野美緒 1・高岩文雄 2・吉田薫 1(1. 東大農学生命科学 2. 生物研・新生物資源創出)
9:30	103 特定根粒菌株に対して非親和性を示すR4遺伝子保有ダイズの解析 ○林正紀 1・佐伯雄一 2・西岡美樹 1・高橋将一 3・佐山貴司 4・石本政男 4・加賀秋人 1・原田久也 1・河内宏 1・梅原洋佐 1(1. 農業生物資源研究所 2. 宮崎大農学 3. 九州沖縄農業研究センター 4. 北海道農業研究センター)	203 イネ胚のパターン形成変異体 <i>are2</i> の同定と解析 ○田附博 1・伊藤百代 1・木苗貴秀 1・小嶋美紀子 2・桧原健一郎 1・榎原均 2・伊藤純一 1・草場信 1, 3・長戸康郎 1(1. 東大農学生命科学 2. 理研PSC 3. 現・広島大理)	303 サツマイモの木質化関連酵素cinnamyl-alcohol dehydrogenase(CAD) 遺伝子の単離と塊根形成過程における発現解析 ○角谷直人・丸橋隆洋(玉川大農)
9:45	104 QTL mapping of spike characters in common wheat ○A. Manickavelu・川浦香奈子・今村寿子・森路子・荻原保成(横浜市大木原生研)	204 アブラナ科植物における種属間キメラの合成と解析 ○三木香織 1・中川美緒 1・岡安浩次 1・奥西麗 1・太田惣介 2・平田豊 1(1. 東京農工大学農学府国際環境農学専攻 2. 東京農工大学農学部生物生産学科)	304 NAD代謝変異による植物物質生産代謝変動の解析 ○平林孝之 1・高原健太郎 1・高橋秀行 2・川合真紀 1, 3・内宮博文 1, 2(1. 東大分生研 2. 岩手生工研 3. 埼玉大理工)
10:00	◆座長 林正紀 (生物研)	◆座長 宅見薫雄 (神戸大)	◆座長 草場信 (広島大)
10:00	105 ギニアグラス(<i>Panicum maximum</i> Jacq.)におけるアポミクシス特異的染色体 ○秋山征夫・山田-秋山仁美・蝦名真澄・飯村敬二・高原学・高溝正・杉田紳一(畜草研)	205 イネにおけるミトコンドリア局在Pentatricopeptide Repeat遺伝子 <i>MPR25</i> の解析 ○戸田拓士・藤井杜太・鳥山欽哉(東北大院農)	305 植物RNAウイルスを用いて誘導される外来性遺伝子の転写不活性化におけるベクター挿入配列の段階的な長さの違いによる効果 ○河合文珠・太田垣駿吾・増田税・金澤章(北大院農)
10:15	106 ダイズにおけるSSRマーカーの効率的ジェノタイプング ○黄太暎 1, 2・佐山貴司 1・高田吉丈 3・中本有美 1・鈴木彩子 1・喜多村啓介 2・石本政男 1(1. 北農研 2. 北大院農 3. 近中四農研)	206 イネ出穂期遺伝子 <i>dTH3</i> の特性評価 ○藤野賢治・松田康之・関口博史(ホクレン)	306 DNA脱メチル化酵素遺伝子の発現量は植物ウイルスベクターを介した外来性プロモーターへのメチル化誘導の程度に影響する ○太田垣駿吾・増田税・金澤章(北大・院・農)
10:30	107 全ゲノムSNPアレイによるオオムギ染色体組置換系統の高速ジェノタイプング ○佐藤和広 1・T. Close 2・武田和義 1(1. 岡大資生研 2. カリフォルニア大)	207 イネにおける長日条件下での花芽形成抑制機構の解明 ○根本泰江 1・山内歌子 1・野々上慈徳 2・矢野昌裕 1・井澤毅 1(1. 生物研 2. 農林水産先端研)	307 ウメの葉において乾燥ストレスで発現が誘導されるabscisic acid stress ripening-induced protein (ASR) 遺伝子の解析 ○花田裕美 1・橋本広祐 1・根来圭一 1・林恭平 1・永井宏平 1・池上春香 1・森本康一 1, 2(1. (財)わかやま産業振興財団 2. 近畿大生物理工)
10:45	108 イネの配偶体型花粉不稔突然変異遺伝子 <i>gps7</i> , <i>gps12</i> , <i>gps14</i> のマッピング ○渡邊美弥子 1・山形悦透 1・土井一行 1, 2・安井秀 1・吉村淳 1(1. 九大院農 2. 名大院生命科学)	208 <i>Oryza rufipogon</i> に見出された新規感光性遺伝子は <i>Se1</i> 座に不感光性遺伝子が存在しても感光性を著しく増大させる ○齊藤大樹 1・浅野翔 1・濱田晋介 1・寺西健 1・一谷勝之 2・奥本裕 1・谷坂隆俊 1(1. 京大院農 2. 鹿児島大農)	308 接ぎ木実験によるMicroRNA172の節長距離輸送の解析 ○兼平杏美・葛西厚史・大関さおり・原田竹雄(弘前大農学生命科学)

1日目(10月11日)午前

第4会場 (A2-201教室)	第5会場 (A2-202教室)	第6会場 (A1-301教室)	第7会場 (A1-302教室)	10月11日
<p>◆座長 雑賀啓明 (生物研)</p> <p>401 シロイヌナズナとキャベツの体細胞雑種における花器の形態変異 山岸博・○山添雅人・山下陽子(京都産大工)</p> <p>402 細胞融合によるタバコからペチュニアへの形質転換葉緑体の導入 ○重野麻子・林清音・山岸博(京都産大工)</p> <p>403 シイタケ子実体形成不全株について ○段上輝之・近藤健・種坂英次・吉田元信(近畿大農学農業生産科学)</p> <p>404 スプレーグクの新品種‘グリーンドリムナース’の育成と緑花色の遺伝 ○山田栄成・岩崎勇次郎(静岡農林研)</p>	<p>◆座長 田口文緒 (生物研)</p> <p>501 トウガラシ細胞質雄性不稔に関する、ミトコンドリア機能性の遺伝子転写の多様性 ○申英燮1・グルヤスゲルゲリ2・平田豊1(1.農工大、院、国際2.農工大、院、連大)</p> <p>502 トウガラシ果実色選抜マーカー作製のための変異解析2 ○市川竜太郎1,2・坂智広1・笹沼恒男1,2(1.横浜市大木大原生研2.山形大農)</p> <p>503 イネ小穂の形態形成に関わる突然変異遺伝子の相互作用 — <i>epd1(OsMADS6)</i>と<i>egl1</i>(過剰穎-1) — ○高半禮逸朗1・千葉あや乃1・中居練1・石川隆二2(1.北大院農2.弘前大学農学生命科学部)</p> <p>504 イネ<i>dp1</i>座(内穎發育不全1)の複対立遺伝子の表現型から示唆される内穎の由来 ○千葉あや乃・長野宏則・佐野芳雄・高半禮逸朗(北大院農)</p>	<p>◆座長 江頭宏昌 (山形大学)</p> <p>601 葉緑体ゲノムの解析により明らかになった栽培メロンにおける細胞質型の分化 ○田中克典1・明石由香利2・西田英隆2・M. Khaing3・佐藤洋一郎1・加藤鎌司2(1.総合地球環境学研究所2.岡山大農3. VFRDC, ミャンマー)</p> <p>602 コムギ不感光性遺伝子<i>Ppd-D1</i>の地理的分布 ○西田英隆・芝井哲史・吉田哲也・明石由香利・加藤鎌司(岡山大院自然)</p> <p>603 栽培オオムギB-アミラーゼの熱安定性における多様性の成立過程 ○最相大輔・武田和義(岡大資生研)</p> <p>604 中国南部から収集したオオムギの評価 ○児玉真尚・佐藤和広・武田和義(岡大資生研)</p>	<p>◆座長 中崎鉄也 (京大)</p> <p>701 ナガイモレクチンDB1を用いた形質転換作物の作出とその害虫抵抗性評価 ○加藤哲也1・堀雅敏1・小川智久2・鳥山欽哉1(1.東北大院農学応用生命科学2.東北大院生命分子生命科学)</p> <p>702 ダイズにおける新規耐冷性QTLの同定 池田達哉1・大西志全2・千田峰生3・三好智明4・石本政男5・喜多村啓介6・船附秀行5(1.北大農学院2.道立中央農試3.弘前大院農4.道立十勝農試5.農研機構北海道農研6.北大農学研究院)</p> <p>703 ダイズにおける低温着色粒発生の分子メカニズムの解明 葛西厚史1・大西志全2・山崎敬之3・船附秀行4・倉内佑1・松本拓郎1・湯本節三5・白井滋久3・三好智明6・○千田峰生1(1.弘大農学生命2.道立中央農試3.道立北見農試4.北海道農研センター5.東北農研センター6.道立十勝農試)</p> <p>704 宿主性の異なるメロンうどんこ病菌株の発生とそれに対する抵抗性素材の探索 ○泉川康博1・葛谷真輝2・高津康正3・宮城慎1(1.茨城農総生工研2.茨城農総セ筑西地域農改普セ3.茨城農総セ農大)</p>	9:00
<p>◆座長 吉田薫 (東大)</p> <p>405 イネ由来改変型ジヒドロジコリン酸合成酵素遺伝子を導入したリジン高含有イネの特性解析 ○小松晃1・長谷川久和2・三田紗千恵1・戸澤謙3・若狭暁4・大島正弘1・寺川輝彦2(1.農研機構・作物研2.北興化学(株)3.愛媛大・無細胞セ4.東京農大・農)</p> <p>406 遺伝子ターゲティングによるイネアントラニル酸合成酵素遺伝子の改変 ○雑賀啓明・小野寺治子・土岐精一(生物研)</p> <p>407 アミロライスの開発とその特性の研究(1) ○阿部克1・関川晶子1・小澤由美1・長谷川真里1・藤田直子2・三ツ井敏明1,3・岸根雅宏4・大坪研一1・伊藤紀美子3,5(1.新潟大・農2.秋田県大・生物資源3.新潟大・超域4.食総研5.新潟大・院・自然研)</p> <p>408 液体培地を用いたアグロバクテリウム法による効率的イネ形質転換系と新規マーカーフリー選抜方法の開発 ○小沢憲二郎(北農研)</p>	<p>◆座長 高半禮逸朗 (北大)</p> <p>505 コムギ及びエギロブス属植物のミトコンドリア <i>orf260</i> 遺伝子の変異 ○中西健太・谷口和也・堀川明彦・寺地徹(京産大工)</p> <p>506 アブラナ科植物でみいだされた自家和合性突然変異系統の遺伝学的解析 ○五十川祥代1・諏訪部圭太1・白澤彰1・高田美信1・磯貝彰2・高山誠司2・鈴木剛3・渡辺正夫1,4,5(1.東北大院生命科学2.奈良先端大バイオ3.大阪教育大4.岩手大21世紀COE5.東北大理)</p> <p>507 イネの高温登熟耐性に関するQTL解析 ○小林麻子1・矢野昌裕2・富田桂1・林猛1・安藤露3・水林達実3・田野井真1(1.福井農試2.生物研3.農林水産先端研)</p> <p>508 コムギ赤かび病抵抗性に関与する5つのQTLの有効性検証 ○鈴木孝子1・佐藤導謙2・竹内徹1(1.北海道立中央農業試験場2.佐藤技術士事務所)</p>	<p>◆座長 最相大輔 (岡山大)</p> <p>605 Sorghum core collection: Assessment of diversity based on SSR markers and morphological traits ○T. Shehzad1・奥泉久人2・河瀬真琴2・奥野員敏1(1.筑波大生命環境2.生物研)</p> <p>606 分子マーカーに基づく栽培ペニバナの祖先及びペニバナ属の系統関係の解明 ○笹沼恒男1,2・D. Sehgal3・笹隈哲夫2・S. Raina3(1.山形大農2.横浜市大木大原生研3.デリ一大植物)</p> <p>607 浜海植物コウボウムギ <i>Carex kobomugi</i> (Cyperaceae)のクローン構造および空間遺伝構造 ○大迫敬義(京都府大生命環境科学)</p> <p>608 山形県在来カブの深播き抵抗性に関する系統間差異 ○江頭宏昌1・岡田夢水2・赤澤経也1・小野寺弘道1(1.山形大農2.(株)サッポロドラッグストア)</p>	<p>◆座長 西田英隆 (岡山大)</p> <p>705 神社赤米など国内外から収集した在来種の圃場越冬性について ○猪谷富雄・小川正巳(県立広島大学生命環境学部)</p> <p>706 オヒルギの塩応答性遺伝子を導入したシロイヌナズナの解析 ○多田雄一1・深山真史1,2(1.東京工科大応用生物2.現・産総研バイオニクス)</p> <p>707 イネ科の野生植物 <i>Puccinellia tenuiflora</i>からのK'チャネルサブユニット遺伝子PutAKT1の単離と酵母を用いた機能解析 ○SinthoWahyuningArdie1・柳参彦2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター2.中国東北林業大学)</p> <p>708 イネ科野生植物 <i>Chloris virgata</i>とイネ由来 <i>Metallothionein1</i> の形質転換体を用いた比較解析 ○西内俊策1・柳参彦2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター2.中国東北林業大学)</p>	10:00
				10:15
				10:30
				10:45

1日目(10月11日)午前			
10月11日	第1会場(交流センター)	第2会場(A3-301教室)	第3会場(A4-205教室)
11:00	◆座長 佐藤和広 (岡山大資生研) 109 イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa17</i> のマッピング ○田浦悟1・一谷勝之2・河邊弘太郎1(1. 鹿大遺伝子実験施設2. 鹿大農)	◆座長 伊藤幸博 (東北大) 209 コムギの生育ステージの進行に伴う花成関連遺伝子発現パターンの変化 北川哲・鈴木隆之・嶋田早苗・○村井耕二(福井県大生物資源)	◆座長 寺石政義 (京大) 309 細胞質雄性不稔イネにおけるカルシウム結合タンパク質の分子遺伝学的解析 ○佐々木康平・藤井壮太・鳥山欽哉(東北大院農)
11:15	110 イネ第4染色体に座するイネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa1</i> ・ <i>Xa2</i> の位置関係 ○高須有希子1・一谷勝之2・河邊弘太郎3・佐藤宗治2・田浦悟 田浦3(1. 鹿大院農2. 鹿大農3. 鹿大遺伝子実験施設)	210 <i>mvp</i> 変異体の解析から明らかとなった <i>WAP1</i> / <i>VRN1</i> と <i>WFT</i> との関係 ○鈴木隆之1・阿部知子2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 理研仁科センター)	310 <i>Ae. mutica</i> 細胞質置換コムギにおけるミトコンドリアレトログレード制御の解析 ○谷口和也・西口昌寿・堀川明彦・寺地徹(京産大工)
11:30	111 イネ雑種弱勢原因遺伝子 <i>Hw2</i> の高密度連鎖解析および候補遺伝子 ○一谷勝之1・前田勇介1・柳瀬朱1・沖山友哉2・田浦悟3・佐藤宗治1・金森裕之4・呉健忠4・松本隆5・渡部信義2・久保山勉2(1. 鹿児島大農2. 茨城大農3. 鹿児島大遺伝子実験施設4. STAFF研5. 生物研)	211 S-RNase遺伝子のCAPS分析によるリンゴ品種S対立遺伝子22種類の識別 H. Kim1・○角井宏行2・古藤田信博3・木庭卓人4・佐々英徳4(1. 千葉大院芸2. 千葉大院自然科学3. 農研機構果樹研4. 千葉大院園芸)	311 イネ雄性生殖器官におけるsmall RNAの網羅的解析 ○藤岡智明1・諏訪部圭太1・矢野健太郎2・金子英未1・小川由紀子2・加藤大貴2・鈴木絢子2・牧野周3・前忠彦3・遠藤誠4・川岸(小林)万紀子4・鈴木剛5・渡辺正夫1,6,7(1. 東北大院生命科学2. 明治大農3. 東北大農4. 作物研5. 大阪教育大6. 岩手大21世紀COE7. 東北大理)
11:45	112 花粉競争はベチュニアF ₂ 分離集団の分離比異常を誘導する ○小林紗織・遠山宏和・渡部信義・久保山勉(茨大農)	212 HT-B protein in self-incompatibility: trafficking, membrane binding and degradation. ○近藤勝彦1・C. Lee2・B. McClure2(1. 独立行政法人 農業生物資源研究所2. ミズーリ大学生化学)	312 低温ストレスに対するイネ雄性生殖器官の形態および遺伝子発現プロファイル ○金子英未1・諏訪部圭太1・矢野健太郎2・藤岡智明1・J. Park1・菊地俊介2・濱田和輝2・遠藤誠3・永野邦明4・長村吉晃5・川岸(小林)万紀子3・鈴木剛6・渡辺正夫1,7,8(1. 東北大院生命科学2. 明治大農3. 作物研4. 宮城県古川農試5. 生物研6. 大阪教育大7. 岩手大21世紀COE8. 東北大理)
12:00	113 ダイズ高密度連鎖地図の構築1. エンレイ×Peking F ₂ 雑種集団を用いたSSRマーカーによる連鎖地図の作成 ○加賀秋人1・清水武彦2・坪倉隆隆1・町田佳代2・田畑哲之3・片寄裕一1・原田久也1(1. 生物研2. STAFF研3. かずさDNA研)	213 dot-blot法を利用した <i>Brassica</i> 属Sハプロタイプ同定技術の改良 ○及川恵里子1・宅野将平1・泉田致2・橋澤英明3・坂本浩司4・北柴大泰1・西尾剛1(1. 東北大大学院農学研究科2. (株)サカタのタネ3. カネコ種苗(株)4. タキイ種苗(株))	313 <i>mPing</i> 挿入をもつ遺伝子の転写産物の構造の解析 ○稲垣晴香・築山拓司・奥本裕・門田有希・S. Karki・齋藤大樹・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農)

1日目(10月11日)午後	
12:50	ポスター(奇数番号) 12:50-13:50 (交流センター ホワイエ)
14:00 ↓ 17:30	50回記念シンポジウムI 「育種学最近のトピックス」 主任: 谷坂隆俊(京大)・大澤良(筑波大) 1 オオムギの皮裸性遺伝子の単離と機能解析 武田真 (岡山大学資源生物科学研究所) 2 ゲノム情報を用いたイネ遺伝資源の解析 江花薫子 (農業生物資源研究所) 3 東アジアにおける最近のウンカ被害の発生とイネの害虫抵抗性の遺伝解析 安井秀 (九州大学大学院農学研究院) 4 アスコルビン酸パーオキシダーゼ遺伝子およびフルクタン合成酵素遺伝子によるイネの穂ばらみ耐冷性の強化 佐藤裕 (農研機構・北海道農業研究センター) 5 コムギ種発芽抵抗性遺伝子座の高精度マッピングと育種プログラムにおける活用 厩田淳史 (ホクレン農業総合研究所) 6 トマトゲノム情報を核としたナス科DNAマーカー育種基盤の構築 福岡浩之 (農研機構・野菜茶業研究所) 7 品種の遺伝的不安定性とトランスポゾンの転移制御 貴島祐治 (北海道大学大学院農学研究院) 8 高等植物ミトコンドリアの分裂と融合 堤伸浩 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
19:00	懇親会 19:00-21:00 (彦根プリンスホテル)

1日目(10月11日)午前				
第4会場 (A2-201教室)	第5会場 (A2-202教室)	第6会場 (A1-301教室)	第7会場 (A1-302教室)	10月11日
◆座長 藤田直子 (秋田県大) 409 ミヤコグサにおける転写因子MYB12の遺伝子単離とその機能解析 園廣智1・田辺大悟2・山田哲也1・喜多村啓介1(1. 北大院農2. 北大農)	◆座長 佐藤裕 (北農研) 509 異なる遺伝背景下における低温発芽性QTLの遺伝子効果 ○岩田夏子・藤野賢治(ホクレン)	◆座長 加藤謙司 (岡山大) 609 複合種ニガナ(<i>Ixeridium dentatum</i>)における種内の系統解析 ○田中啓介・高原美規(長岡技術科学大学生物機能工学)	◆座長 高野哲夫 (東大) 709 不定根形成を指標としたソバの播種期 冠水耐性評価 ○岩松諒・奥野員敏・大澤良(筑波大院生命環境)	11:00
410 ミヤコグサ由来の転写因子Myb12を過剰発現させた形質転換ダイズの作出 ○新井麻衣子・園廣智・山田哲也・喜多村啓介(北大院農)	510 黄ダイズ品種エンレイの発芽時冠水抵抗性遺伝子 ○平田香里1・吉川貴徳1・中崎鉄也1・小松邦彦2・奥本裕1・広田直子1・G. Rizall1・佐山貴司3・葉山拓司1・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 九州沖縄農研3. 北海道農研)	610 Dot-blot-SNP分析によるイネ在来品種の遺伝的変異の解析 ○佐藤秀樹1・遠藤貴司2・山口誠之1・汐海沙知子3・西尾剛3(1. 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター2. 古川農業試験場3. 東北大学大学院農学研究科)	710 葉形と連鎖した新たなダイズシステムチュウ抵抗性遺伝子 ○山田直弘(長野県中信農業試験場)	11:15
411 自然低温経過後におけるイネフロリゲン遺伝子(<i>Hd3a</i>)導入キクの開花反応 ○浅尾浩史1・長谷部千絵2・玉置祥二郎2・辻寛之2・仲照史1・島本功2(1. 奈良農総セ2. 奈良先端大バイオ)	511 ダイズの分枝数を支配する遺伝要因の探索 ○佐山貴司1・黄太暎1.2・山崎敬之3・小松邦彦4・高橋将一4・鈴木千賀3・三好智明3・田中義則3・船附秀行1・喜多村啓介2・石本政男1(1. 北農研2. 北大院農3. 十勝農試4. 丸農研)	611 葉緑体DNAシーケンスを用いた <i>Tulipa</i> 属の原種および園芸品種の分子系統学的解析 ○柳澤令1・久原泰雅2・西川智太郎3・岡崎桂一4(1. 新潟大院自然科学2. 新潟県立植物園3. 農業生物資源研究所4. 新潟大農)	711 簡易検定法を用いたトウガラシ疫病抵抗性連鎖マーカーの開発 ○南山泰宏1・松村篤2・小野愛3(1. 京都農総研2. 野菜茶研3. 京都農資セ)	11:30
412 サツマイモ活動型レトロトランスポソンの異種植物における転移誘導 ○山下裕樹1・山崎浩二1・豊田和弘1・田原誠1・松嶋兼弘2(1. 岡大自然科学2. 株式会社ロッセ)	512 イネの地表根形成に関わるQTLの探索 佐藤雅志1・半澤栄子1・永井新生1・佐々木和浩1・前川雅彦2・矢野昌裕3・宇賀優作3(1. 東北大学院生命科学2. 岡山大資生研3. 生物研)	612 イネの低温発芽性に関与する因子の探索 ○藤部貴宏1・阿部陽2・松村英生3・寺内良平1,3(1. 岩手大21世紀COE2. 岩手県農業研究センター3. 岩手生物工学研究センター)	712 タルホコムギ由来Dゲノムが合成6倍体コムギの生地強度におよぼす効果 ○田中裕之1・松岡由浩2・辻本壽1(1. 鳥取大農2. 福井県立大生物資源)	11:45
413 アグロバクテリウム法を用いたマールレット(<i>Argyranthemum frutescens</i>)の形質転換 百井舞子・高原美規(長岡技術科学大学生物機能工学)	513 日本および世界のイネ294品種の穂形質についての主成分分析 ○田口文緒・矢野昌裕・江花薫子(生物研)	613 特定のアミノ酸配列に基づく高等植物の種の同定法 ○中村郁郎1・高橋弘子2・真壁壮3・米倉健治1(1. 千葉大園芸学研究所2. 千葉大自然科学研究科3. 千葉大園芸)	713 豆腐加工適性に関与するダイズ子実中のカルシウム含有量の評価 ○高橋浩司1・山田哲也1・大木信彦1・戸田恭子1・島田信二2・羽鹿牧太1(1. 作物研究所2. 中央農研)	12:00

1日目(10月11日)午後		
ポスター (奇数番号)	12:50-13:50 (交流センター ホワイエ)	12:50
50回記念シンポジウムⅡ 「動植物育種の到達点と目標」 主任：奥野員敏 (筑波大)・倉田のり (遺伝研)	1育種と育種学 一彰と形- 武田和義 (岡山大・資源研、日本学術会議・育種学分科会委員長) 2 穀類の育種と多様性研究の未来 声苜基行 (名大・生物機能開センター) 3 森林資源の保全と林木育種の役割 津村義彦 (森林総研) 4 家畜育種の現状と未来 野村哲郎 (京産大工学部・生物工学科) 5 世界の魚類養殖の発展と育種の役割 岡本信明 (東京海洋大) 6 きの子育種の目標と新資源の開発 松本晃幸 鳥取大・農菌類きのこ遺伝資源センター) 7 総合討論	14:00 ↓ 17:30
懇親会	19:00-21:00 (彦根プリンスホテル)	19:00

2日目(10月12日)午前

10月12日	第1会場(交流センター)	第2会場(A3-301教室)	第3会場(A4-205教室)
	◆座長 安井秀(九大)	◆座長 久保友彦(北大)	◆座長 川浦香奈子(横浜市大)
8:45	114 イネコアコレクションを利用したSNP検出 ○江花薫子・長崎英樹1・金森裕之2・並木信和2・岩田洋佳3・中嶋舞子1・福岡修一1・矢野昌裕1(1. 農業生物資源研究所2. STAFF研究所3. 中央農業総合研究センター)	214 イネ種子根の伸長に関わるSHORT ROOT5遺伝子の解析 姚善国1・児玉るみ2・王華2・一井真比古2・武田真3・○吉田均1(1. 農研機構・中央農研・北陸2. 香川大学3. 岡山大学)	314 HiCEP法を用いたオオムギ低温誘導性遺伝子の同定 ○鈴木美香・木藤新一郎(岩大農)
9:00	115 SNPアレイによるイネのゲノムワイドジェノタイプング系の構築 江花薫子・長崎英樹・中嶋舞子・○矢野昌裕(農業生物資源研究所)	215 RETROGRADE-REGULATED MALE STERILITYの抑制がCW型細胞質雄性不稔イネの稔性を回復する ○藤井社太・鳥山欽哉(東北大学農学研究所)	315 ミトコンドリアゲノムのsubstoichiometric shiftingにかかわる可能性を持つダイコンMutS遺伝子ホモログの解析 ○小嶽佑太・山岸博・寺地徹(京産大工)
9:15	116 次世代シーケンサーによるコシヒカリゲノム解読と日本稲品種間のSNP解析 ○長崎英樹・中嶋舞子・堀清純・江花薫子・矢野昌裕(独)農業生物資源研究所 QTLゲノム育種研究センター)	216 5種類の細胞質雄性不稔イネのミトコンドリアゲノム構造および花粉形態の比較 ○山田茉莉・藤井社太・鳥山欽哉(東北大院農)	316 Isolation and characterization of the genes related to root shape in radish. ○H. Zaki・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
9:30	117 SNP多型情報にもとづく日本の近代育成イネ品種群のゲノム構成 ○山本敏央・米丸淳一・江花薫子・長崎英樹・中嶋舞子・矢野昌裕(農業生物資源研究所)	217 イネBT型細胞質雄性不稔性の原因遺伝子とされるorf79を導入したイネの作出と解析 ○小島久代1・風間智彦2,3・藤井社太1・板橋悦子1・鳥山欽哉1(1. 東北大院農2. 東北大院生命3. 岩手大学21世紀COE)	317 自然変異で生じたイネ細葉遺伝子narrow leaf 7の単離 ○松田康之1・関口博史1・小沢憲二郎2・西村岳志3・小柴共一3・M. Fraaije4・藤野賢治1(1. ホクレン2. 北農研3. 首都大学東京4. Groningen大)
9:45	◆座長 江花薫子(生物研)	218 イネのBT型細胞質雄性不稔性に対する弱稔性回復遺伝子の作用 ○板橋悦子・鳥山欽哉(東北大院農)	◆座長 金澤章(北大)
	118 ギニアグラスのアポミクシス遺伝子領域における高密度STSマーカーの開発 ○高原学1・蝦名真澄1・秋山征夫1・山田・秋山仁美1・飯村敬二1・杉田紳一1・高溝正一1・中川仁2(1. 農研機構・畜産草地研2. 農業生物資源研)		318 イネのプランノステロイド不活性化酵素遺伝子の解析 ○坂本知昭1・川邊綾美2・清水文一2・藤岡昭三3・水谷正治2(1. 名大高等研究院2. 京大・化研3. 理研・DRI)
10:00	119 キク品種の簡易識別法の開発 ○金森裕之1・安藤 露1・伊川浩司1・百瀬真幸2・大塚雅子2・門馬孝之2・渡邊真希2・戸栗敬博2・石内美沙紀3・濱口祐子4・江口恭三1・山川理1(1. STAFF研究所2. キリンホールディングス株式会社3. 有限会社セラマム4. 有限会社精興園)	◆座長 鳥山欽也(東北大)	319 ダイズ開花期関連遺伝子座FT3のマップベースクローニング ○渡辺啓史1・秀島瑠満子2・夏正俊1・坪倉康隆1・佐藤修正3・山中直樹4・石本政男5・田畑哲之3・穴井豊昭2・原田久也1(1. 生物研2. 佐賀大院農3. かざさDNA研4. 国際農研5. 北農研)
10:15	120 パンコムギにおけるDNAマーカー多型検出頻度の向上 - TILLING法の適用 - ○田中晃司・島田幹也・田中裕之・辻本壽(鳥取大院農学)	220 ハマダイコンにみられる稔性回復遺伝子orf687の多型とその機能 ○松本欣剛・安本景太・寺地徹・山岸博(京都産大工)	320 6倍性/パンコムギにおける α/β グリアジン遺伝子のゲノム構造 ○川浦香奈子1・呉健忠2・松本隆2・金森裕之3・片桐敏3・荻原保成1(1. 横浜市大木原生研2. 生物研3. STAFF研)
10:30	121 イネOsAGPS2およびOsSUT1における良登熟型対立遺伝子の品種間分布 ○加藤恒雄(近畿大生物理工)	221 ダイコンのミトコンドリアorf138 mRNAのプロセッシングが花粉稔性に及ぼす影響 ○安本景太・富岡関子・松本欣剛・寺地徹・山岸博(京都産大工)	321 ダイズゲノムに見いだされた新規copia様レトロトランスポゾン配列 ○伊藤洋介1・矢野健太郎2・奥本裕1・谷坂隆俊1・寺石政義1・北島宣1(1. 京大院農2. 明治大農)

2日目(10月12日)午前

第4会場 (A2-201教室)	第5会場 (A2-202教室)	第6会場 (A1-301教室)	第7会場 (A1-302教室)	10月12日
◆座長 加藤淳太郎 (愛知教育大) 414 イネ亜種間交配個体におけるクロマチン修飾変化による減数分裂組換えホットスポットの誘導 ○土生芳樹1・安藤露2・伊藤幸恵2・田口文緒1・矢野昌裕1(1. 生物研2. 農林水産先端技術研)	◆座長 大澤良 (筑波大) 514 P形ワリー記述子によるイネの草型解析. 3. 幼苗の草型評価と関連遺伝子領域の探索 ○鈴木克彰・平田豊(東京農工大学 農学府 連合農学研究所 植物遺伝育種学研究室)	◆座長 笹沼恒男 (山形大) 614 日本産タケ運植物の遺伝育種学的研究.XXV.日本列島におけるメダケ属の分布地域に関する調査と考察 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授)	◆座長 羽鹿牧太 (作物研究所) 714 イネ種子リボキゲンナーゼ3遺伝子の同定とその欠失系統の選抜のためのSNPマーカーの開発 ○白澤健太1,2・竹内善信1・蛭谷武志3・鈴木保宏1(1. 農研機構・作物研2. 現:かずさDNA研3. 富山農技セ)	8:45
415 ムギ類とトウジンビエの遠縁交雑: ムギ類のゲノム構成が染色体脱落に及ぼす影響 ○石井孝佳・上田登史恵・田中裕之・辻本壽(鳥取大院農)	515 キメラ植物由来アントシアニン変異ダイコン系統の確立 ○岡安浩次1・有海文吾2・鈴木克彰1・中川美緒3・平田豊1,2,3(1. 農工大 院 連大2. 農工大 農3. 農工大 院 国際)	615 ワサビの遺伝資源探索IV. 中国湖南省における現地調査報告 ○山根京子1・魯元学2・律郷3・山口裕文1(1. 大阪府大院生命環境科2. 中国科学院昆明植物研究所3. 京大院農学)	715 大豆種子中のデンプン含量の品種間差 ○W. Jeong1・原田久也2・山田哲也1・阿部純1・喜多村啓介1(1. 北海道大学農学院2. 農業生物資源研究所)	9:00
416 <i>Brassica juncea</i> と <i>B. napus</i> 細胞質を持つ <i>B. carinata</i> の種子発芽に及ぼす細胞質の効果 ○常彩濤・柿原文香・加藤正弘(愛媛大学農学部)	516 生食用ばれいしょ品種「きたかむい」の開発 安田慎一・三上晃一郎・在原章公・守屋明博・児玉幹司・田畑紀保子・岸田力哉(ホクレン農業総合研究所)	616 ラオス北部の在来モチイネ品種における品種内「多型」 ○武藤千秋1・川野和昭2・チャイブン/サイ3・谷坂隆俊4・佐藤洋一郎5(1. 岐阜大連合農2. 鹿児島黎明館3. ラオス農研4. 京大農学育種5. 地球研)	716 ダイズ種子中における脂質含量及びリノレン酸含有率の制御に関わる因子の探索 ○柴田雅之1・穴井豊昭2・山田哲也1・阿部純1・喜多村啓介1(1. 北大院農2. 佐賀大学農学部)	9:15
417 2種類のダイコンd染色体添加型ナタネの胚形成と伝達率 ○赤羽美智子・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)	517 白山ダゲチャ大粒変異系統の特性 ○阿部利徳(山形大農)	◆座長 大迫敬義 (京都府大) 617 アジア、バンコムギにおける高分子量グルテニンサブユニットの地理的変異 ○西中未央1・奥本裕1・加藤舞1・加藤鎌司2・築山拓司1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 岡山農大)	717 ダイズ野生種ソルマメにおける高ルテイン形質の作用機序の解析 ○金丸京平・山田哲也・阿部純・喜多村啓介(北大院農)	9:30
◆座長 房相佑 (宇都宮大) 418 マメ科モデル植物ミヤコグサのレトロトランスポゾンLORE1の活性化 ○深井英香1・梅原洋佐1・河内宏1・Jens Stougaard2・廣近洋彦1(1. 生物園2. オーフス大)	◆座長 平林秀介 (作物研) 518 サツマイモ <i>Ipomea batatas</i> (L.) Lam の交雑育種による色素系統群の選抜 ○井上尚樹・種坂英次・吉田元信(近畿農業学農業生産)	618 中央アジア在来品種コムギにおける高分子量グルテニンサブユニットの変異 ○寺沢洋平1,2・高田兼則3・河原太八4・加藤鎌司5・平野久1・笹限哲夫1,6・笹沼恒男1,2(1. 横浜市立大学大学院国際総合科学研究科2. 山形大農3. 近中四農研4. 京大院農5. 岡大農6. 国際農林業協働協会)	◆座長 中村郁郎 (千葉大) 718 ダイズ核遺伝 <i>stay green</i> 突然変異体の解析 ○増田優1・佐藤豊2・森田竜平3・西村実3・喜多村啓介4・草場信1(1. 広大院理2. 生物研3. 生物研放育場4. 北大院農)	9:45
419 圃場に設置した防風網がイネの花粉拡散と自然交雑率に及ぼす影響 ○矢頭治・青木秀之・横山宏太郎(中央農研・北陸研究センター)	519 東北・北陸地域で秋播栽培が可能な地ビール醸造用二条大麦新品種「小春二条」の育成 ○平将人1・谷口義則1・中村和弘1・伊藤裕之1・吉川亮2・八田浩一3・中村洋4・前島秀和5・伊藤美環子2・伊藤誠治6(1. 東北農業研究センター2. 北海道農業研究センター3. 九州沖縄農業研究センター4. 作物研究所5. 長野県農事試験場6. 中央農業総合研究センター・北陸研究センター)	619 イランの香り米品集の特徴 ○バジルザンザニメラン1・サルハジフキル アホマド2・平田豊1(1. 農工大. 院. 国際2. 農工大. 院. 連大)	719 子葉緑ダイズ品種の色素含量の品種間差について ○大橋榮美子1・草場信2・山田哲也1・喜多村啓介1(1. 北大院農2. 広島大理)	10:00
420 高カルコンアンタバの育種Ⅲ. 風媒および放任受粉による採種 ○南晴文1・谷口雅彦2・芝野真喜雄2・馬場きみ江2・白井靖子3・大澤良3(1. 東京農総研2. 大阪薬大3. 筑波大生命環境科学)	520 土壌病害抵抗性を持ち加工適性が優れる大納言あずき「十育154号」の育成 ○田澤暁子1・島田尚典1・青山聡1・藤田正平2・村田吉平1・佐藤仁1・松川勲3(1. 道立十勝農試2. 道立中央農試3. 元十勝農試)	◆座長 白澤健太 (作物研究所) 620 フランカ属、種間キメラにおける形態的、分子的特徴 ○太田悠介・中川美緒・岡安浩次・奥西麗・三木香織・平田豊(東京農工大学)	720 ダイズ種子の高 α -トコフェロール含有量に関する候補領域の解析 ○M. Dwiyanti1・山田哲也1・阿部純1・喜多村啓介(北大院農)	10:15
421 触角電位検出器によるアブラナ科植物の花香変異の評価 ○小林喜和・新井美耶子・本田洋・大澤良(筑波大生命環境)	521 稲作北限地の北海道における熱帯原産野生イネを利用した多収系統育成の試み ○清水博之1・伊藤勇樹1・大西一光2・佐野芳雄2(1. 北農研2. 北大院農)	621 葉緑体局在型NADリン酸化酵素の高発現によるNADPプールの増大がイネの酸化ストレス耐性と一次代謝に及ぼす影響 ○高原健太郎1・高橋秀行2・小野寺治子3・土岐精一3・川合真紀4・内宮博文1,2(1. 東大分生研2. 岩手生工研3. 農資研4. 埼玉理工)	721 変異体を用いたダイズサポニン糖付加に関する研究 ○川崎翔太1・鎌田美希子1・山田哲也1・塚本知玄2・阿部純1・喜多村啓介1(1. 北大大学院・農2. 岩大学院・農)	10:30

10月12日	第1会場 (交流センター)	第2会場 (A3-301教室)	第3会場 (A4-205教室)
10:45	◆座長 掛田克行 (三重大) 122 新規転移因子RLVAを用いたアズキ品種識別マーカーの開発 ○中川藍1・山下裕樹1・大山由美2・田原誠1(1. 岡山大学大学院自然科学研究科2. 海外貨物検査会社)	◆座長 鳥山欽也 (東北大) 222 舞鶴市のハマダイコンにおける雄性不稔遺伝子と稔性回復遺伝子の分布 ○山岸博・山下陽子(京都産大工)	◆座長 坂本知昭 (名大) 322 イネ種子貯蔵タンパク質低減系統の作出および解析 ○川勝泰二・保田浩・廣瀬咲子・高岩文雄(生物研)
11:00	123 MALDI-TOF/MSIによるコムギミトコンドリアDNAのSNPs検出法の開発 ○藤原早希1・森原2・田原誠1(1. 岡山大学大学院自然科学研究科2. 岡山大学資源生物科学研究所)	223 コセナダイコンおよびナタネサイプリッドにおけるCMS原因遺伝子 <i>orf125</i> の転写様式の解析 ○小林健人・大嶋雅夫・今村順・肥塚信也(玉川大 農)	323 オオムギP23kタンパク質の生殖生長期における発現解析 ○木藤新一郎・及川愛・鈴木美香(岩大農)
11:15	124 ラッカセイSSRマーカーの開発 ○内藤嘉穂1,2・遠山宏和3・井上栄一1・渡部信義1・久保山健1(1. 茨大農2. 三菱化学メディエンス(株)3. 茨城県農業総合センター)		324 Identification of specific proteins in sake brewery and floury cultivars in rice (<i>Oryza sativa</i> L.). ○J. Kamara1・佐藤佑樹1・高岡素子2・笹沼恒男1・阿部利徳1(1. 山形大農2. 神戸女学院人間科学)
11:30	125 大量サンプルのSNP分析のためのPCRテンプレートの簡易調整法 ○汐海沙知子1・北柴大泰1・白澤健太1・永野邦明2・西尾剛1(1. 東北大院農学2. 宮城県古川農試)		

2日目(10月12日)午後

12:45	ポスター (偶数番号) 12:45-13:45 (交流センター ホワイエ)		
10月12日	第1会場 (交流センター)	第2会場 (A3-301教室)	第3会場 (A4-205教室)
14:00	シンポジウムⅢ	シンポジウムⅡ	シンポジウムⅣ
17:30	「植物育種におけるオミックス情報の利用と展望」 主任: 矢野健太郎 (明治大)	「稔性回復遺伝子の多様性と進化」 主任: 寺地徹 (京産大)・久保友彦 (北大)	「育種における細胞遺伝学」 主任: 福井希一 (阪大)・辻本壽 (鳥取大)
	1 ゲノム情報を利用したカンキツ育種の加速と効率化 清水徳朗 (農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所)	1 イネ稔性回復遺伝子のクローニングと機能解析 鳥山欽哉 (東北大農学研究科)	1 染色体研究最近の進歩 福井希一 (阪大工学研究科)
	2 遺伝子発現データを利用した遺伝子探索手法 ○矢野健太郎1・清水顕史2 (1. 明治大農2. 滋賀県大環境科学)	2 ダイコン稔性回復遺伝子の多様性と進化 寺地徹 (京産大工学部)	2 分子細胞学の進展 - FISH法とGISH法 向井康比己 (大阪教育大)
	3 メタボローム - 0TL解析による作物代謝機能の解明 松田史生 (理研PSC)	3 ユニークな遺伝子を採用したテンサイ稔性回復システム ○久保友彦・松平洋明・北崎一義・亀井陽子・三上哲夫 (北大農学研究科)	3 染色体とゲノムを繋ぐ最近の話題 近江戸伸子 (神戸大)
	4 植物研究用リソースの情報整備について 山崎由紀子 (遺伝研・系統情報研究室)	4 遺伝子重複による分子進化 大田竜也 (総合研究大学院)	4 植物人工染色体の構築に向けて - 動原体とミニクロモソーム - 長岐清孝 (岡山大)
	5 総合的な機能解明に向けたイネアノテーション情報の活用 伊藤剛 (農業生物資源研究所)	5 植物の繁殖をめぐる共進化とコンフリクト 矢原徹一 (九州大理学研究院)	5 ヒストンの翻訳後修飾と遺伝子発現制御 若生俊行 (農業生物資源研究所)
	6 植物ゲノム情報を基盤とした統合データベース 中村保一 (かずさDNA研)		4 染色体切断とその育種利用 遠藤隆 (京大農学研究科)
	7 作物研究に向けたシロイヌナズナからの情報発信の試み ○小林正智1, 安部洋1, 鳴坂義弘2, 田村卓郎3, 太田聡史1, 深海薫1(1. 理研BRC, 2. 岡生研, 3. ビッツ株式会社)		5 育種における細胞遺伝学 辻本壽 (鳥取大農学研究科)
10月12日	交流センター-2F研修室5,6		交流センター-2F研修室7,8
18:00	グループ研究集会1 育種パラダイム研究会		グループ研究集会2 遺伝資源海外学術調査の現状と課題
20:00	世話人: 足立泰二 (植物バイオ開発研究所)		世話人: 大田正次 (福井県立大)・加藤謙司 (岡山大)・佐藤雅志 (東北大) 話題提供: 「トルコにおける野生コムギ遺伝資源の調査」 森直樹 (神戸大)
	話題提供: 「植物バイオの原点を先人達に学ぶ その1. エルヴィン・パウア」 足立泰二 (植物バイオ開発研究所)		「南・東アジアにおけるウリ科作物の多様性: 東アジアにおけるメロンのルーツをたどって」 田中克典 (総合地球研)

第4会場 (A2-201教室)	第5会場 (A2-202教室)	第6会場 (A1-301教室)	第7会場 (A1-302教室)	10月12日
<p>◆座長 矢頭治 (中央農研)</p> <p>422 父性遺伝DNAマーカーを利用したキウリF1種子のバルク純度検定法の開発 ○山本達也1・明石由香利1・田中克典2・西田英隆1・大澤良3・加藤鍾司1(1. 岡山大院自然2. 地球研3. 筑波大院生命環境)</p> <p>423 種子の組織発育過程で働く遺伝子と関連づけた、種子化学成分含量(%) QTLの解析 ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1. 作物研2. 京都産大工)</p>	<p>◆座長 日野耕作(滋賀県農技セ)</p> <p>522 ほ場検定を用いたイネ紋枯病抵抗性系統の選抜 ○大内田真・小牧有三・佐藤光徳(鹿児島県農業開発総合センター)</p> <p>523 水稲「ヒノヒカリ」のトピロロンカ抵抗性同質遺伝子系統新品種「関東BPH1号」 ○平林秀介1・小川紹文2・梶亮太3・八木忠之10・岡本正弘1・太田久稔1・竹内善信1・佐藤宏之4・石井卓朗1・前田英郎1・平山正賢5・出田 収6・深浦社一7・溝淵律子8・西村実8・加藤浩1・根本博1・井辺時雄9・安東都男1(1. 作物研2. 宮崎大農3. 東北農研センター4. 農水省5. 茨城農総センター6. 近中四農研7. 熊本農研8. 生物研9. 国際農研10. 元九州農研)</p> <p>524 パレイシヨ 育種における4種類の病虫帯抵抗性検定用DNAマーカーを同時検出できるマルチプレックスPCR法の開発 ○森一幸・田宮誠司・坂本悠(長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場)</p>	<p>◆座長 白澤健太 (作物研究所)</p> <p>622 シイタケにおけるbeta-O-4型リグニンモデル化合物の分解 ○古地玲規・種坂英次・吉田元信(近畿大農学農業生産科学)</p>	<p>◆座長 渡辺啓史 (生物研)</p> <p>722 子実中へのカドミウム蓄積が低い大豆品種 ○羽鹿牧太1・杉山恵2・高橋浩司1・山田哲也1・大木信彦1(1. 作物研究所2. 農業環境技術研究所)</p> <p>723 ダイズ7S貯蔵蛋白質サブユニット変異の特徴 ○于蕾1・小林康真2・平田豊2(1. 農工大学・院・連大2. 農工大学・院・国際)</p> <p>724 ダイズ種皮のプロアントシアニン含量とラジカル消去活性に関する遺伝解析 ○G. Rizaal1・吉川貴徳1・中崎鉄也1・S. Karkil1・佐山貴司2・広田直子1・平田香里1・遠藤亮太1・中村岳史1・向井勇人1・葉山祐司1・奥本裕1・谷坂隆俊1(1. 京大院農学2. 北海道農研)</p> <p>725 高アミロースデンプンを蓄積するイネ変異体系の解析 ○藤田直子・佐藤瑞衣・林亜樹・中村保典(秋田県大生物資源科学)</p>	<p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p>

2日目 (10月12日) 午後			
ポスター (偶数番号) 12:45-13:45 (交流センター ホワイエ)			12:45

第5会場 (A2-202教室)		
<p>シンポジウム I</p> <p>「東南アジアにおけるイネ育種の現場と地球環境変動化における今後のイネ育種課題」</p> <p>主任：石川隆二 (弘前大)</p> <p>1 東南アジアにおけるイネ育種の現場と地球環境変動化における今後のイネ育種課題 ○石川隆二1・佐藤洋一郎2(1. 弘前大学農学生命科学部2. 総合地球環境学研究所)</p> <p>2 Development and selecting for rice in VietNam ○L. Nguyen1・B. Bui2 (1. Cuulong Delta Rice Research Institute, VietNam 2. Institute of Agricultural Science for Southern VietNam)</p> <p>3 Breeding methods for rice in Cambodia ○Sakhan Sophany・M. Ouk・S. Men (Cambodia Agricultural Research and Development Institute)</p> <p>4 Rice Breeding in Thailand : Current Status and Future Strategies on Global Climate Change W. Orapin・○Somsong Chotechuen (Rice Department, Min. of Agri. & Cooperatives, Thai)</p> <p>5 The Use of phenotypic characters for classification of genetic diversity in black glutinous rice germplasm of the Lao PDR ○C. Bounphanousay1・J. Prasi2・J. Sanitchon2・R. Hamilton3 (1. National Agriculture and Forestry Research Institute, Lao, PDR2. Department of Plant Science and Agricultural Resources, Faculty of Agriculture, Khon Kaen University3. I. T. Chang Genetic Resources Center)</p>		<p>14:00</p> <p>↓</p> <p>17:30</p>

講演番号・座長一覧

	第1会場 交流センター	第2会場 A3-301教室	第3会場 A4-205教室	第4会場 A2-201教室	第5会場 A2-202教室	第6会場 A1-301教室	第7会場 A1-302教室
11日午前	101-104 貴島祐治 9:00-10:00	201-204 村井耕二 9:00-10:00	301-304 近藤勝彦 9:00-10:00	401-404 雑賀啓明 9:00-10:00	501-504 田口文緒 9:00-10:00	601-604 江頭宏昌 9:00-10:00	701-704 中崎鉄也 9:00-10:00
	105-108 林正紀 10:00-11:00	205-208 宅見薫雄 10:00-11:00	305-308 草場信 10:00-11:00	405-408 吉田薫 10:00-11:00	505-508 高牟禮逸朗 10:00-11:00	605-608 最相大輔 10:00-11:00	705-708 西田英隆 10:00-11:00
	109-113 佐藤和広 11:00-12:15	209-213 伊藤幸博 11:00-12:15	309-313 寺石政義 11:00-12:15	409-413 藤田直子 11:00-12:15	509-513 佐藤裕 11:00-12:15	609-613 加藤鎌司 11:00-12:15	709-713 高野哲夫 11:00-12:15
12日午前	114-117 安井秀 8:45-9:45	214-218 久保友彦 8:45-10:00	314-317 川浦香奈子 8:45-9:45	414-417 加藤淳太郎 8:45-9:45	514-517 大澤良 8:45-9:45	614-616 笹沼恒男 8:45-9:30	714-717 羽鹿牧太 8:45-9:45
	118-121 江花薫子 9:45-10:45	219-223 鳥山欽哉 10:00-11:15	318-321 金澤章 9:45-10:45	418-421 房相佑 9:45-10:45	518-21 平林秀介 9:45-10:45	617-619 大迫敬義 9:30-10:15	718-721 中村郁郎 9:45-10:45
	122-125 掛田克行 10:45-11:45		322-324 坂本知昭 10:45-11:30	422-424 矢頭治 10:45-11:30	522-524 日野耕作 10:45-11:30	620-622 白澤健太 10:15-11:00	722-725 渡辺啓史 10:45-11:45

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はコンピュータプレゼンテーションのみです。予備用の OHP の用意はありません。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。パソコンの不具合に供えるため運営委員会において予備のパソコン(Windows XP のみ、Power Point)を準備致しますので、必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックをご持参下さい。また、大会当日、会場には試写室を設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には 4 本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ていますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意下さい。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りますがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. 試写室には大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時に必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックも用意して下さい。

その他、ご不明の点は滋賀県立大学育種学会運営委員会(hitaikai@ses.usp.ac.jp)にお問い合わせください。

ポスター発表プログラム

分類群/番号

タイトル

<1. 品種育成>

P001	酒米新品種「兵系酒79号」の育成と試験醸造製品の開発 ○池上勝1・世古晴美2・三好昭宏1・小河拓也1(1. 兵庫県立農林水産技術総合センター2. 元兵庫県立農林水産技術総合センター)
P002	コムギ系統「関東130号」のWx遺伝子型準同質遺伝子系統における草丈と赤かび病抵抗性 ○藤田雅也1・久保堅司1・小田俊介1・八田浩一1・関昌子2・松中仁2・乙部千雅子2・中村俊樹3・齊藤美香3(1. 農研機構 九州沖縄農業研究センター2. 農研機構 作物研究所3. 農研機構 東北農業研究センター)
P003	のらぼう菜におけるSSR品種標識化が主要形質に及ぼす影響 ○北浦健生1,3・河田隆弘1・久保深雪1・北宜裕1・松元哲2・大澤良3(1. 神奈川農技セ2. 農研機構野菜茶研3. 筑波大生命環境)
P004	アカダイコンのアントシアニン含量および組成の収穫時期による変動 ○辻耕治・田村理・村上啓寿(阪大薬学)
P005	CDC PolarStarの育成. ~カナダにおけるLOXレスビール大麦品種の育成経過とその特性~ ○齊藤渉1・保木健宏1・廣田直彦1・高橋進1・木原誠1・林勝弘1・B. Rossnagel2・武田和義3(1. サッポロビール バイオ部2. サスカチュワン大学 CDC3. 岡山大資生研)

<2. 育種情報>

P006	イネ表現型データベースの構築と利用ツールの作成 (1) QTL・遺伝子情報の収集と整理 ○米丸淳一・山本敏央・福岡修一・宇賀優作・堀清純・矢野昌裕(生物研)
P007	<i>mPing</i> タギングシステムを用いたイネの経済形質に関わるゲノムサイトの検出と同定 ○柿窪善浩1・堀端章1,2(1. わかやま産業振興財団2. 近畿大学生物理工学部)
P008	<i>mPing</i> タギングのための決定木および階層的t-検定を用いたデータマイニングシステム ○堀端章1,2・柿窪善浩2・吉廣卓哉3・瀧寛和3・井上悦子3・中川優3(1. 近畿大学生物理工学部2. 財団法人わかやま産業振興財団3. 和歌山大学システム工学部)
P009	酒米心白標準画像作製法の簡素化 ○長澤章道・林祥希・高原美規(長岡技大 院 工 生物)
P010	画像解析的手法を用いたイネの穂型解析 ○池田真由子1・広瀬佳嗣2・山本敏央3・北野英己4(1. 名大院生命農学2. (株)本田技術研究所3. 生物研4. 名大生物機能開発利用研究センター)
P011	ゲル泳動画像からの遺伝子型解析ソフトウェア“Polyans (Polymorphism Analysis System)”の開発 ○七夕高也1,2・磯部祥子2(1. 農業生物資源研究所 光環境応答研究ユニット2. かずさDNA研究所 植物分子育種研究室)
P012	品種育成系譜図作成ソフトウェアの開発 ○竹崎あかね1・松山慎2・寺田学3・細川淳4・原一浩5・坂智広6(1. 農水技会筑波事務所2. ベストシステムズ3. CMSコミュニケーションズ 4. シリアルゲームズ5. エフエックスビイ6. 横浜市大木原生研)

<3. 遺伝資源・系統分類>

P013	<p>ダイズとツルマメの浸透交雑の可能性に関する調査 3. 野生種との競合環境下における適応関連形質のQTL解析 ○住谷真理子1・加賀秋人2・黒田洋輔2・北本尚子1・大澤良2(1. 筑波大院生命環境2. 生物研)</p>
P014	<p>陸稲在来品種コアコレクションの作成 ○岡野克紀1・岡本和之1・眞部徹1・石川友子1・石井卓朗2(1. 茨城生工研2. 作物研)</p>
P015	<p>分子マーカーを用いた和泉葛城山ブナ林保護のための遺伝的管理 ○森川利信・森川優子(大阪府大生命環境科学)</p>
P016	<p>栽培品種名のローマ字表記法の混乱した現状をどう解決するか？ ○池谷祐幸(農研機構果樹研)</p>
P017	<p>東、東南アジアのイネいもち病菌菌系の反応からみた一遺伝子系統の特徴づけ ○川崎顕子1・林長生2・Vera CruzCasiana M.3・小林伸哉1,3・C. Lei4・J. Wu5・D. Suwarno6・M. Santoso6・M. Anggiani6・D. Sobrizal7・S. Han8・A. Fe9・L. Perez9・L. Loan10・P. Du10・福田善通1(1. 国際農林水産業研究センター2. 農業生物資源研究所3. 国際稲研究所4. 作物研究所5. 中国水稻研究所6. インドネシア稲研究センター7. アイソトープ放射線研究開発センター8. 韓国農業振興局9. フィリピン稲研究所10. クーロンデルタ稲研究所)</p>
P018	<p>SSRマーカーを用いた淀川沿いのヨシ(<i>Phragmites australis</i>)の遺伝的多様性 ○前田純1・佐藤洋一郎2・小杉亜希3・清水顕史3・長谷川博3(1. 京大農学研究科2. 地球研3. 滋賀県立大環境科学)</p>
P019	<p>イネにおけるアソシエーションマッピングで特定したインド型-日本型分化領域の特性解析 ○今井克則・本多剛志・石川隆二(弘前大農学生命科学)</p>
P020	<p>コムギエギロプス属 <i>Sitopsis</i> 節 <i>Emarginata</i> 亜節にみられる穂の形態的変異と地理的分布 ○太田敦士1・山口裕文1・河原太八2・山根京子1(1. 大阪府大院生命環境2. 京大院農学)</p>
P021	<p>トランスポゾン・ディスプレイによるアワ遺伝資源の多様性解析 ○平野僚子1・内藤健2・福永健二3・奥本裕4・谷坂隆俊4・渡邊和男1・河瀬真琴5(1. 筑波大院生命環境2. Plant Biol. Dep., U. Georgia3. 県立広島大生命環境生命科学4. 京都大院農5. 生物研)</p>

<4. 変異創成>

P022	<p>重イオンビーム照射による白花ナデシコ新品種の育成 ○杉山正夫1・風間裕介2・林依子2・寺川輝彦1・阿部知子2(1. 北興化学開発研2. 理研仁科センター)</p>
P023	<p>ガンマ線およびイオンビーム照射によって得られたダツタンソバ半矮性変異体の特性 ○森下敏和1・清水明美1・山口博康2・出花幸之介3・六笠裕治4・相井城太郎5・長谷純宏6・鹿園直哉6・田中淳6・宮沢豊7・齊藤宏之8・林依子8・竜頭啓充8・福西暢尚8・阿部知子8(1. 生物研・放育場2. 農研機構花き研3. 沖縄農研センター4. 農研機構北農研5. 新潟薬科大6. 原研機構7. 東北大8. 理研)</p>
P024	<p>サチホゴールデンの突然変異処理によって得られた新たなリポキシゲナーゼ-1欠失遺伝子とそのDNAマーカーの開発 ○大関美香1・天谷正行1・鈴木保宏2・長嶺敬1,3・春山直人1・五月女敏範1(1. 栃木農試2. 農研機構・作物研3. 農研機構・近中四農研)</p>
P025	<p>重イオンビーム照射による栽培タバコの組織感受性差異と変異体の解析 竹久妃奈子1・風間祐介1・市田裕之1・林依子1・三吉一光2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 秋田県立大学)</p>
P026	<p>TILLING法によるダイズ突然変異体ライブラリーのスクリーニング ○穴井豊昭・秀島瑠満子・今井奈保子(佐賀大農学部)</p>
P027	<p>炭素イオンビーム照射によるイネの突然変異誘発に対するLETの影響 ○林依子1・竹久妃奈子1・風間裕介1・大部澄江1・東海林英夫1・林祐子1・佐藤雅志2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東北大院生命科学)</p>
P028	<p>イオンビーム突然変異誘発技術を利用した少肥料栽培向きイネの作出 ○日野耕作1・片山寿人1・北村治滋1・川村容子1・中川淳也1・吉田貴宏1・森真理2・仙波俊男1・長谷純宏3・田中淳3(1. 滋賀農技セ2. 現滋賀県庁3. 原子力機構)</p>

P029	冠根が地面上に伸長したイネ変異系統における根の重力応答欠損 半澤栄子1・永井新生1・佐々木 和浩1・宮尾安藝雄2・廣近 洋彦2・東谷篤志1・前川雅彦3・○佐藤雅志1(1. 東北大院生命科学2. 生物研3. 岡山大資生研)
P030	イチゴ2倍体野生種 (<i>Fragaria vesca</i>) とイチゴ栽培種 (<i>F. x ananassa</i>) の交雑後代の交雑性の評価 ○木村貴志1・曾根一純1・柳智博2・沖村誠1(1. 九州沖縄農研2. 香川大農)
P031	イネ雑種弱勢原因遺伝子 <i>Hwc2</i> 領域ORFの相補性検定と発現解析 ○沖山友哉1・金森裕之2・呉健忠3・松本隆3・一谷勝之4・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨大農2. STAFF研3. 生物研4. 鹿児島大農)
P032	SSRマーカーによる3倍体サクラソウ (<i>Primula sieboldii</i>) 種間雑種形成に寄与する非還元雌性配偶子タイプの推定 ○加藤淳太郎1・村田有紀1・鈴木幹奈2・池田真由子3・吉田康子4・上野真義5・大澤良4・三位正洋2(1. 愛知教育大生物2. 千葉大院園芸3. 名大院生命農学4. 筑波大生命環境5. 森林総研)
P033	イワザクラ (<i>Primula tosaensis</i>) と2タイプのその変種シナノコザクラ (<i>P. tosaensis</i> var. <i>brachycarpa</i>) の交配によって得られたDNA含量の異なる変種間雑種の稔性の差異 ○大田将史1・池田真由子2・林麻衣3・大橋広明4・天野淳二5・中村郁郎3・加藤淳太郎1・三位正洋3(1. 愛知教育大生物2. 名大院生命農学3. 千葉大院園芸4. 愛媛大農5. JSTイノベーションプラザ東海)
P034	<i>Pelargonium crispum</i> と <i>P. rapaceum</i> とのF ₁ 個体における特性 ○大塚和幸1・柿原文香1・加藤正弘1・栗坂信之2・岡本充智2(1. 愛媛大学農学部2. 愛媛県農林水産研究所)
P035	培養変異を利用した少肥料栽培向きイネの作出 ○北村治滋1・日野耕作1・川村容子1・片山寿人1・森真理2・長谷川博3(1. 滋賀農技セ2. 滋賀県庁3. 滋賀県立大)
P036	硝酸イオントランスポーター遺伝子を導入したイネにおけるPETISを用いた硝酸吸収能の解析 ○片山寿人1・北村治滋1・森真理2・長谷川博3・藤巻秀4・鈴木伸郎4・河地有木4・石井里美4・松橋信平4・塚本崇志5・西澤直子5(1. 滋賀県農技セ2. 滋賀県庁3. 滋賀県大環境科学4. 原子力機構量子ビーム5. 東大農学生命科学)
P037	組換えリンドウのカルスにおける発現抑制の解析 ○山崎識知1・小田雅行1・大門弘幸1・岸脇由季1・中塚貴司2・西原昌宏2・三柴啓一郎1(1. 大阪府大生命環境2. (財)岩手生工研セ)
P038	耐塩性遺伝子組換えバレイショの収量形質評価 ○島崎高嘉1・菊池彰1・春日美江2・篠崎和子2・渡邊和男 渡邊1(1. 筑波大院生命環境2. 国際農研生物資源)
P039	アセトアニリド系除草剤によりアントシアニン蓄積を誘導するCYP72A21プロモーターを用いた形質転換イネ ○川東広幸1・廣瀬咲子1・今石浩正2・坂本亘3・前川雅彦3・大川秀郎4・大川安信1(1. 農業生物資源研究所2. 神戸大学3. 岡山大学4. 福山大学)
P040	バイオアクティブビーズ法によるハードネス遺伝子群導入イネの作出 ○和田直樹1・梶山慎一郎2・秋山征夫3・大谷基泰4・島田多喜子4・鈴木剛5・向井康比己5・福井希一1(1. 阪大工学生命先端工学2. 近大生物理工学生物工学3. 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所 4. 石川県立大生物資源工学研究所5. 大教大教養学生命科学)

<5. 変異解析>

P041	New Rice for Africa (NERICA)品種の遺伝・育種学的特徴III, グラベリマ由来染色体領域の農業形質との関連性 富久尾歩1・柳原誠司1・常松浩史1,2・生井幸子3・小仁所邦彦1・○福田善通1(1. 国際農研生物資源2. WARDA3. 国際農研生産環境)
P042	ネパール在来早生コムギ系統のシロガネコムギとの出穂性のF ₂ 分析 ○宅見薫雄(神戸大農)

P043	日本のコムギ品種の種皮色遺伝子(<i>R</i>)の同定 ○松中仁1・4・蝶野真喜子1・野田和彦2・氷見英子2・関昌子1・藤田雅也3・久保堅司3・国分牧衛4(1. 農研機構・作物研2. 岡山大学資生研3. 農研機構・九沖農研4. 東北大学大学院農学研究科)
P044	dot-blot-SNP マーカーを利用した <i>Brassica rapa</i> の連鎖地図の作成および開花期と葉の形態のQTL解析 ○李鋒・石丸洋次・北柴大泰・西尾剛(東北大学大学院農学研究科植物遺伝育種学研究室)
P045	パンコムギ幼苗におけるABA感受性に関わるQTL解析 ○小林史典1・2・堀清純1・宅見薫雄3・半田裕一1(1. 生物研2. 日本学術振興会特別研究員3. 神戸大院農)
P047	イネ (<i>Oryza sativa</i> L.) における穎果と除穎種子の発芽に関わるQTL解析 佐々木和浩・風間ゆり・蔡潤・○佐藤雅志(東北大学大学院生命科学)
P048	ダイズのイソフラボン含量に關与するQTL:異なる栽培年次、播種期並びに種子部位における発現QTLの比較 ○高田吉丈1・黄太暎2,3・湯本節三4・喜多村啓介3・石本政男2(1. 近中四農研2. 北農研3. 北大農学研究科4. 東北農研)

<6. 抵抗性・品質成分>

P049	グラフィカルモデルによる低リン・ストレス関連形質の多変量解析 ○清水顕史(滋賀県大環境)
P050	ブータン品種Chumroolに由来する新規のイネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pi46(t)</i> のマッピング ○松下景1・ティンレイ2・小泉信三3・芦澤武人4・安田伸子5・春原嘉弘1・飯田修一1・出田収1・藤田佳克5(1. 近中四農研2. ブータン国立植物防疫センター3. 東北農研4. 中央農研北陸センター5. 中央農研)
P051	水稻穂ばらみ期耐冷性遺伝子 <i>Ctb1</i> の単離 ○斎藤浩二・早野由里子・黒木慎・佐藤裕(北海道農研)
P052	ミトコンドリアにおける鉄硫黄クラスター形成に関わるイネ <i>Isu</i> 遺伝子の機能解析(2) 形質転換体の詳細な解析 ○津釜大侑・西内俊策・高野哲夫(東大アジアセンター)
P053	北陸・東北地域におけるオオムギ雲形病菌の病原性および病原力の変異とその地理的分布 ○竹内一成・福山利範(新潟大農学部)
P054	コムギ縞萎縮ウイルス3型系統抵抗性小麦遺伝資源のスクリーニング ○八田浩一・小田俊介・藤田雅也(農研機構九沖農研)
P055	コムギ系統「U24」と「西海165号」のRILsにおける赤かび病抵抗性に関与するQTLの集積によるかび毒蓄積の抑制 ○久保堅司・河田尚之・藤田雅也・小田俊介(九州沖縄農研)
P056	<i>Agrobacterium</i> を宿主とした耐塩性スクリーニングで選抜したオヒルギ遺伝子を導入したシロイヌナズナの解析 ○江澤祥太・多田雄一(東京工科大院・バイオ上情報メディア)
P057	大麦在来品種「横綱」がもつ縞萎縮病抵抗性遺伝子に固有の一塩基欠失変異 ○長嶺敬1・沖山毅2・渡辺浩久2・五月女敏範2・高橋飛鳥1・柳沢貴司1(1. 近中四農研2. 栃木農試)
P058	転移因子によるイネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pit</i> の活性化 ○林敬子・吉田均(農研機構・中央農業総合研究センター)
P059	コムギ品種Ibisの縞萎縮病抵抗性遺伝子のマッピング ○西尾善太1・入来規雄2・伊藤美環子1・田引正1・山内宏昭1(1. 北海道農研2. 作物研究所)
P060	ロシア品種を用いたイネ穂ばらみ期耐冷性に関するQTL解析 ○松葉修一・黒木慎・斎藤浩二・横上晴郁・清水博之(北海道農研)
P061	DNAマーカー選抜より大豆耐塩性QTLIに関する準同質系統の育成 A. Hamwieh・○許東河(国際農研)
P062	オオムギ雲形病検定圃場で見られた伝染源の菌の定着性 ○山口修1・伊藤誠治1・青木恵美子2(1. 中央農業総合研究センター北陸研究センター2. 作物研究所)
P063	オオムギ穀粒の硬軟質性に関するQTL解析 ○塔野岡卓司1,2・青木恵美子1・吉岡藤治1・乙部千雅子1,2(1. 農研機構作物研2. 筑波大生命環境科学)

P064	小麦のグルテニンサブユニット構成と中華麺・冷麺加工適性との関係 ○伏江幸子1・伊藤美環子2・船附稚子2・西尾善太2・田引正2・山内宏昭2・小田有二1(1. 帯広畜産大学2. 北海道農業研究センター)
P065	ピュロインドリン遺伝子型がコムギの子実硬度やコムギ粉品質へ及ぼす影響 ○高田兼則1・松中仁2・谷中美貴子1・石川直幸1・池田達哉1(1. 近中四農研2. 作物研究所)
P066	裸麦における炊飯・保温後白度の低下に関わる要因 ○高橋飛鳥1・高山敏之1,2・長嶺敬1・柳沢貴司1(1. 近畿中国四国農業研究センター2. 栃木県農業試験場)
P067	「コシヒカリ」の精米タンパク質含有率に関するQTLの実証 ○和田卓也1・坪根正雄1・尾形武文1・安井秀2・土井一行2,3・吉村淳2・松江勇次1(1. 福岡県農業総合試験場2. 九大院農3. 現 名大院生命農学)
P068	ダダチャマメ品種における成熟にともなう糖組成・含量の変動 ○小田信博・阿部利徳(山形大農)
P069	六条性裸麦の高βグルカン含量系統の選抜 ○柳澤貴司1・高橋飛鳥1・高山敏之2・長嶺敬1(1. 近畿中国四国農業研究センター2. 栃木県農試栃木分場)
P070	CE-MSで測定した精米中の成分と食味との関係 大友一子1・○後藤元1・佐野智義2・曾我朋義1・結城和博2(1. 慶大先端生命研2. 山形農総研セ農生産技試庄内支)
P071	サツマイモ近縁野生種の根部にトリカフェオイルキナ酸が含まれる ○高畑康浩・沖智之・田中勝・中山博貴・石黒浩二・倉田理恵・奥野成倫・吉元誠(農研機構・九州沖縄農研)
P072	カラシナ (<i>Brassica juncea</i>) × セイヨウナタネ (<i>B. napus</i>) 由来の低リノレン酸系統における脂肪酸組成の推移 ○神野裕亮・鈴木潤美・李徳謀・柿原文香・加藤正弘(愛媛大学農学部)
P073	イネ胚乳でイソアミラーゼ遺伝子制御した形質転換系統の解析 内海好規・藤田直子・○中村保典(秋田県大生物資源科学)

<7. 発育生理>

P074	Identification of molecular markers related to Photoblastism in Korean weedy rice by Bulk segregant analysis H. Lee1・N. Chung2・S. Ahn3・佐々木和浩1・佐藤雅志1・○K. Choi3(1. Grad. Sch. Life Sci., U. Tohoku, 2. Coll. Agric. Life Sci., U. Jeonbuk, South Korea 3. Coll. Agric. Life Sci., U. Chungnam, South Korea)
P075	穂ばらみ期の低温による雄性不稔化がイネの交雑率に及ぼす影響 ○佐藤裕・横谷砂貴子(農研機構北海道農研センター)
P076	ハウレンソウの性決定遺伝子座に関する連鎖解析 ○小野寺康之・与那覇至・三上 哲夫(北大農学研究院)
P077	二粒系コムギとタルホコムギの交雑個体でみられる雑種弱勢の出穂と形態形質への効果 ○水野信之・宅見薫雄(神戸大学大学院農学研究科)
P078	シロイヌナズナのUDP-glucose pyrophosphorylase1と2 (AtUGP1 and 2)の機能解析 朴鍾イン1・石水毅2・諏訪部圭太1・増子潤美1・高田美信1・遠藤誠3・川岸万紀子3・鈴木剛4・○渡辺正夫1,5,6(1. 東北大院生命科学2. 大阪大院理3. 作物研4. 大阪教育大5. 岩手大21世紀COE6. 東北大理)
P079	シロイヌナズナRNAポリメラーゼ遺伝子に生じた機能喪失変異は雄性配偶子形成後も維持される ○中川浩輔・伊藤友輔・小野寺康之・三上哲夫(北大院・農)
P080	PCR-SSPを用いた雌雄異株植物ヒロハノマンテマのX染色体連鎖遺伝子のマッピング ○西原潔1,2・風間裕介1・藤原誠1・河野重行2・阿部知子1(1. 理研・仁科センター2. 東京大・院・新領域・先端生命)

P081	雌雄異株植物ヒロハノマンテマの雌花特異的に発現する遺伝子 <i>S/SUP</i> の解析 ○風間裕介1・藤原誠1・西原潔1,2・小泉綾子2・石井公太郎2・河野重行2・阿部知子1(1. 理研・仁科センター2. 東京大・院・新領域・先端生命)
P082	テンサイミトコンドリア呼吸鎖複合体の活性 ○松永宗幸・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)
P083	フローサイトメトリー法によるデルフィニウム属植物の稔性花粉粒の識別 ○岡本充智1・飯島潤一2(1. 愛媛県農林水産研究所2. パルテックジャパン株式会社)
P084	テンサイOwen型細胞質雄性不稔性にかかわる核遺伝子の発現解析 ○松平洋明 松平・小野克・久保友彦・三上哲夫(北大院農)
P085	<i>Brassica napus</i> cv. Westar における <i>SP11</i> 変異の相補による自家不和合性の獲得 ○栃木隆廣・岡本俊介・北柴大泰・西尾剛(東北大院農)
P086	サクラ属果樹の自発休眠芽で発現する <i>SVP</i> タイプ <i>MADS-box</i> 遺伝子群の発現解析 ○山根久代・大岡智美・上達弘明・田尾龍太郎・米森敬三(京大農)
P087	細胞間接着を負に制御するイネ <i>LEAF ADHESION</i> 遺伝子の解析 ○松井三可子・佐藤亜衣・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
P088	莢の発達に欠損したシロイヌナズナ変異体 <i>extra valves (evv)</i> の解析 ○津和本亮・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
P089	国内コムギ品種の日長反応性に関する <i>Ppd-D1</i> 座の遺伝子型 ○関昌子1・蝶野真喜子1・松中仁1・加藤鎌司2・久保堅司3・乙部千雅子1・藤田雅也3(1. 農研機構・作物研2. 岡山大学農学部3. 農研機構・九沖農研)
P090	タルホコムギの日長反応性変異と関連遺伝子の発現解析 ○奥村ゆりか・宅見薫雄(神戸大農)
P091	2倍体野生コムギにおける春播性遺伝子の構造変異と発現解析 ○川上耕平1・河原太八2・西田英隆1・明石由香利1・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 京大院農)
P092	オオムギ皮裸性遺伝子 (<i>Nud</i>) を導入した形質転換イネの解析 ○石原倫光1・清水匡史1・掛田克行1・武田真2(1. 三重大生物資源2. 岡山大資生研)
P093	オオカナダモのシュートにおける硝酸吸収 ○高柳周1・松田晃2,3・高木優磨2・清水顕史4・長谷川博4(1. 滋賀県立大院環境科学2. 京大院農3. 現山形県農業総合研究センター 4. 滋賀県立大環境科学)
P094	オオムギ準同質遺伝子系統を用いた穂首および穂軸維管束の二・六条間比較 ○渡部豪仁・福山利範(新潟大学自然科学研究科)
P095	イネの少分げつ突然変異体の形質発現と遺伝子マッピング ○加藤清明1・アリヤランテモジツ1・大橋栄美子1・清水裕嗣1・勝又未久里1・徳井真由美1・目黒美生1・高牟礼逸朗2(1. 帯広畜大2. 北大院農)

<8. 増殖>

P096	イネの薬培養効率におよぼすゲル化剤の影響 ○吉田智美1,2・岡本吉弘1・我妻尚広1(1. 酪農学園大学2. 幌加内町農業技術センター)
P097	イネの薬培養におけるカルス誘導期の照明条件とゲル化剤の組合せ効果 ○岡本吉弘・我妻尚広(酪農学園大学)
P098	ササリンドウ (<i>Gentiana scabra</i>) の薬培養および未受精胚珠培養からの植物体再生 ○土井寿子1・高橋亮2・日影孝志2・横井修司2・高畑義人2(1. 岩手大学農学部2. 八幡平市花き研究開発センター)

<9. ゲノム解析>

P099	AFLPマーカーを用いたサツマイモ近縁野生種 <i>Ipomoea trifida</i> の連鎖地図の作出 ○中山博貴・田中勝・高畑康浩(農研機構・九州沖縄農業研究センター)
P100	アズキSSRマーカーによるリョクトウ連鎖地図の構築 ○伊勢村武久・加賀秋人・友岡憲彦・D. Vaughan(生物研)
P101	ビール麦育種における遺伝子多型の応用 II-Illumina array法を用いた「ミカモゴールド」と「Harington」の倍加半数体集団における麦芽品質のQTL解析ー ○周天甦1・廣田直彦1・木原誠1・飯牟礼隆1・保木健宏1・林勝弘1・佐藤和広2(1. サッポロビール(株)2. 岡大資生研)
P102	コムギ属におけるクロリナ突然変異及び長頸遺伝子の比較マッピング ○小菅一真・渡部信義・久保山勉(茨大農)
P103	イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa11</i> のマッピング ○後藤高弘・松本忠之・古屋成人・土屋健一・吉村淳(九大院農)
P104	ダイズのSMV-A2系統抵抗性遺伝子のマッピング ○猿田正恭1・高田吉丈1・河野雄飛2・菊池彰夫2・岡部昭典1(1. 近中四農研2. Natl. Agric. Res. Cent.)
P105	レタス雄性不稔遺伝子に連鎖するDNAマーカーの開発 ○林麻衣1・小田哲也1・氏家綾1・芹澤啓明2・佐々英徳1・木庭卓人1(1. 千葉大院園芸2. 長野県野菜花卉試)
P106	小麦加工食品の原料品種判別法の開発 III. SSRマーカーを用いた国産小麦と輸入銘柄小麦との効率的判別法 ○藤田由美子・石川直幸・矢野博(近畿中国四国農業研究センター)
P107	SSRマーカーを用いた品種識別法の開発 ○伊川浩司1・安藤露1・金森裕之1・百瀬眞幸2・大塚雅子2・戸栗敏博2・石内美沙紀3・濱口祐子4・江口恭三1・山川理1(1. STAFF研究所2. キリンホールディングス株式会社3. 有限会社セラマム4. 有限会社精興園)
P108	キク品種識別マーカーによる識別品種の拡大 ○安藤露1・金森裕之1・伊川浩司1・百瀬眞幸2・大塚雅子2・戸栗敏博2・石内美沙紀3・濱口祐子4・江口恭三1・山川理1(1. STAFF研究所2. キリンホールディングス株式会社3. 有限会社セラマム4. 有限会社精興園)

<10. 遺伝子・タンパク質>

P109	キクにおける <i>Ty3/gypsy</i> 型レトロトランスポソンの解析 ○岸脇由季1・小田雅行1・森源治郎1・山崎識知1・中塚貴司2・西原昌宏2・三柴啓一郎1(1. 大阪府大院生命環境2. (財)岩手生工研セ)
P110	P22a1:sGFP導入ナタネを用いた小孢子胚発生初期発現遺伝子の単離 ○酒井球絵1・福岡浩之2・横井修司1・高畑義人1(1. 岩手大農2. 農研機構野菜茶研)
P111	イネのPIN遺伝子の同定と発現解析 宮下結衣1・藤田雅丈2・堀内陽子2・水多陽子2,3・上田弥生2,3・倉田のり2,3・矢野健太郎4・○伊藤幸博1(1. 東北大農2. 遺伝研3. 総研大生命科学4. 明治大農)
P112	イネ胚乳形成初期における新規サイクリン依存性キナーゼ阻害因子の発現解析 ○水谷征法・堤賢一・斎藤靖史(岩手大・農・寒冷バイオ)
P113	ESTにあるライムギゲノムに散在する反復DNA配列 ○富田因則(鳥取大農)
P114	オオムギ野生種のS遺伝子座周辺ゲノム領域の分子的解析 ○掛田克行・大岸康佑(三重大生物資源)
P115	Nucleotide Sequence Variation Associated with β -amylase Deficiency in Sweet Potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. ○アンワーナディア1・菊池彰1・熊谷 亨2・渡邊和男1(1. 筑波大院生命環境2. 農研機構作物研)

P116	タルホコムギにおける出穂の低温要求性に関する自然変異 ○中村準・宅見薫雄(神戸大農)
P117	リンゴ小球形潜在ウイルスベクターが誘導するダイズ内在性遺伝子のサイレンシング ○山岸紀子・高橋由佳里・吉川信幸(岩手大農)
P118	宇宙環境で生育する大麦のストレス応答・防御遺伝子の発現 E. Shagimardanova1・○杉本学1・O. Gusev2・G. Bingham3・M. Levinskikh4・V. Sychev4(1. 岡山大資生研2. 農業生物資源研究所3. ユタ州立大スペースダイナミック研4. ロシア科学アカデミー生物医学研)
P119	宇宙大麦の特性解析. I. 宇宙環境に曝露した大麦種子の後代における農業特性調査 ○木原誠1・金谷良市1・保木健宏1・荒井正一1・斉藤渉1・高橋進1・林勝弘1・伊藤一敏2・O. Gusev3・M. Levinskikh4・V. Sychev4・杉本学5(1. サッポロビール(株)バイオ研究開発部2. サッポロビール(株)価値創造フロンティア研究所3. 農業生物資源研究所4. ロシア科学アカデミー生物医学研5. 岡山大資生研)
P120	アサガオ花弁における老化関連遺伝子の発現量の系統間差異 ○篠崎良仁1・山田哲也1・七夕高也2,3・宮村浩子2・斎藤隆文2・金勝一樹1(1. 農工大院農2. 農工大院BASE3. 生物研)
P121	イネのDREB1ファミリー遺伝子の網羅的解析 ○伊藤裕介1・篠崎一雄2・篠崎和子1,3(1. 国際農研・生物資源2. 理研・植物セ3. 東大院・農学生命科学)
P122	RNA-directed DNA methylationにより誘導された外来性遺伝子の転写不活性化の自殖後代植物における安定性とメチル化阻害物質による発現回復 ○荒瀬幸子・太田垣駿吾・喜多村啓介・金澤章(北大院農)
P123	シロイヌナズナ開花関連遺伝子変異体のストレス応答の解析 ○久保隆洋・高畑義人・横井修司(岩手大学 農学部)
P124	コムギ <i>WFT</i> における同祖遺伝子間の発現解析 ○菊地理絵・川東広幸・半田裕一(生物研)
P125	MicroRNA393の篩管長距離輸送性とその機能について ○葛西厚史・兼平杏美・木田祥子・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
P126	プロセッシング部位変異型イネグルテリンの細胞内輸送および蓄積 ○若佐雄也・廣瀬咲子・高岩文雄(生物研)
P127	グルテリン挿入型導入遺伝子産物のイネ胚乳における蓄積 ○廣瀬咲子1・楊麗軍1・若佐雄也1・保田浩2・高木英典1・高岩文雄1(1. 農業生物資源研究所 遺伝子組換え作物開発センター2. 農研機構 北海道農業研究センター 低温耐性研究チーム)
P128	ジベレリン処理したイネ無胚半切種子のプロテオーム解析 ○桑田大・山田哲也・濱野國勝・金勝一樹(農工大院農)
P129	Proteomic and Metabolomic Approach for Understanding the Seed Color Gene in Wheat (<i>Triticum aestivum</i> L.) 金基現1・ぱくみんわ6・徐亨錫1・きんあるん1・へおわひょん2・ぱくちよす3・ちょんくんうく4・はんくんすく6・ちょいちょんすん5・○禹仙熙1(1. 忠北大 植物資源学科2. 作物科学院3. 作物科学院4. 忠北大 農化学科5. 韓国基礎科学院6. 韓国基礎科学院)
P130	Proteomic Analysis of the Protein Profiles Expressed during Seed Maturation in Common Buckwheat (<i>Fagopyrum esculentum</i> L.) ○申東勳1・ぱくみんわ2・尹英浩3・きんほんしく1・じょんすんくん1・はんくんすく2・ちょいちょんすん4・禹仙熙1(1. 忠北大 植物資源学科2. 韓国基礎科学院3. 作物科学院4. 韓国基礎科学院5. 韓国基礎科学院6. 韓国基礎科学院)

講演会場へのアクセス



JR 彦根、JR 南彦根駅までの交通案内

「東京・名古屋、および北陸方面から」

JR 米原で JR 琵琶湖線下り、京都・大阪方面の電車に乗り換える。新快速と普通が運転されていますが、新快速は JR 彦根しか停車しないので注意して下さい。

「京都・大阪方面から」

新快速乗車の場合は彦根まで、京都から普通(大阪から高槻または京都まで快速)米原行き乗車の場合は南彦根で下車。

滋賀県立大学までの交通案内

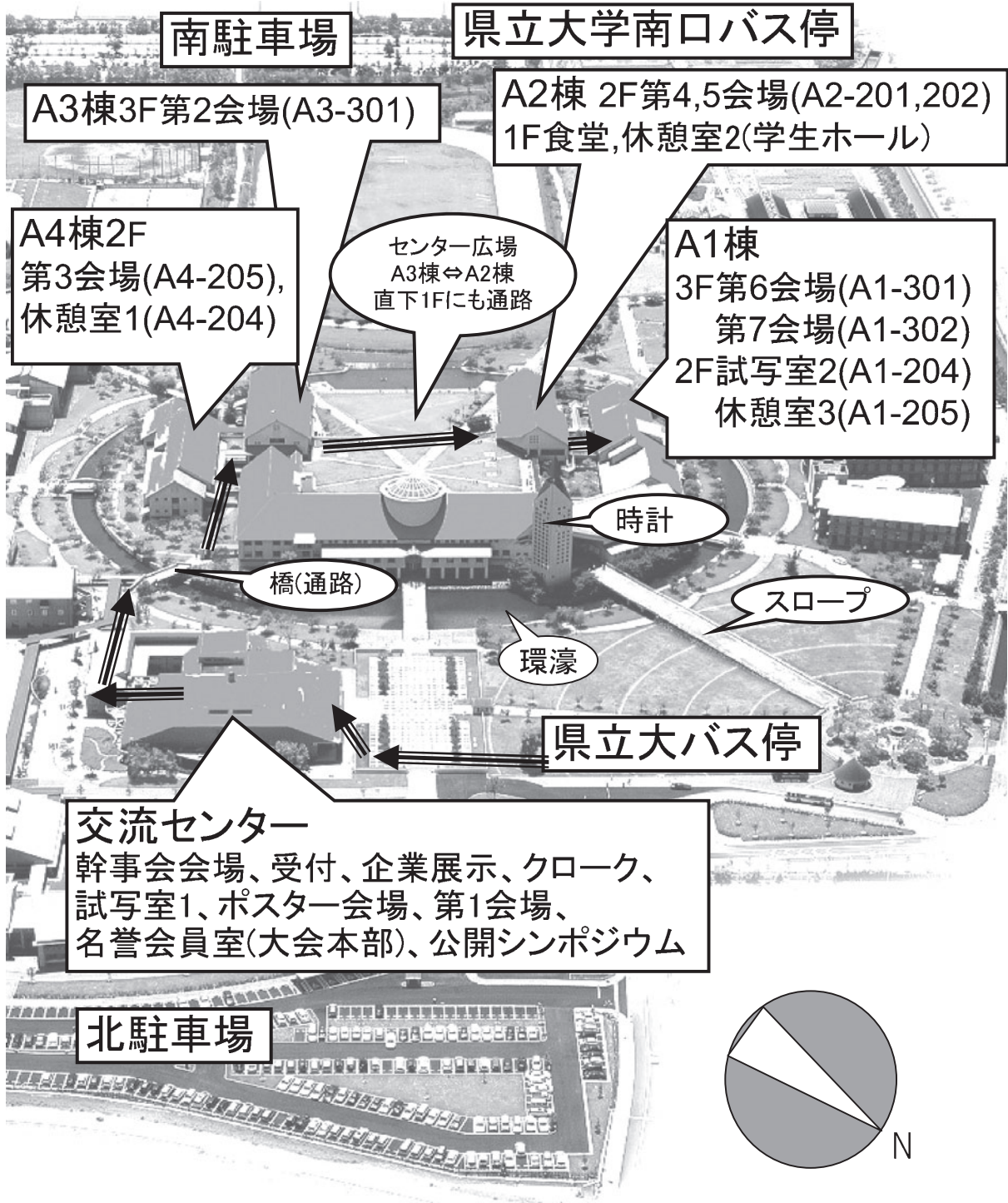
「JR 琵琶湖線(東海道線)彦根駅から」路線バスで約 20 分、タクシー15 分

「JR 琵琶湖線(東海道線)南彦根駅から」路線バスで約 15 分、タクシー10 分

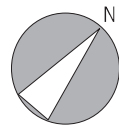
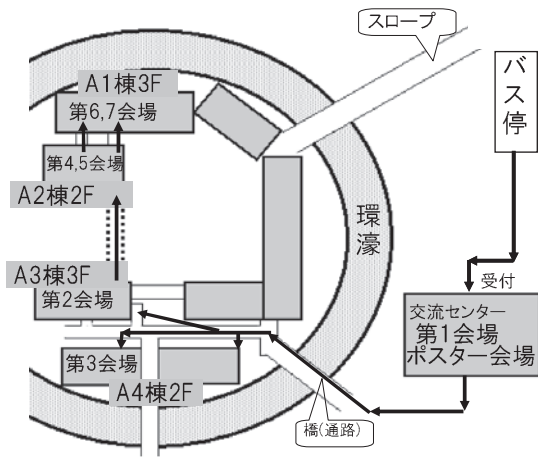
ただし便数が少ないので注意してください。開催日当日は臨時バスの運行を依頼する予定です。

「車でお越しの方」：名神彦根 IC から約15分。IC から出た道を直進し、湖岸道路まで。長曾根町北の交差点を左折、犬上川橋を渡ってすぐの、県立大学前の信号を左折すぐ。大学構内に北駐車場および南駐車場があります。ご希望の方は滋賀県立大学大会運営委員会(hitaikai@ses.usp.ac.jp)にe-mailにてご連絡ください。

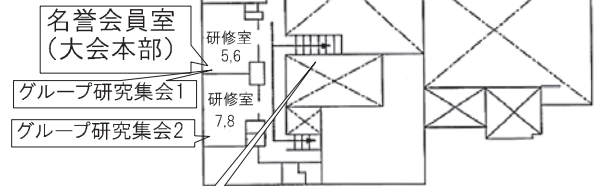
講演会場案内図(滋賀県立大学)



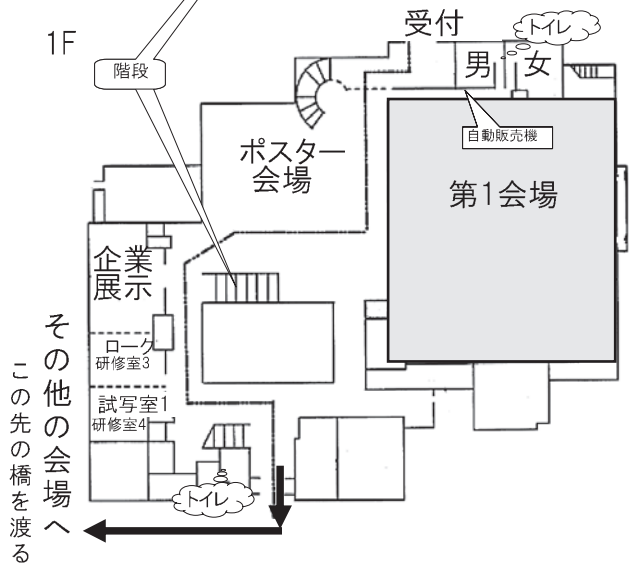
経路図



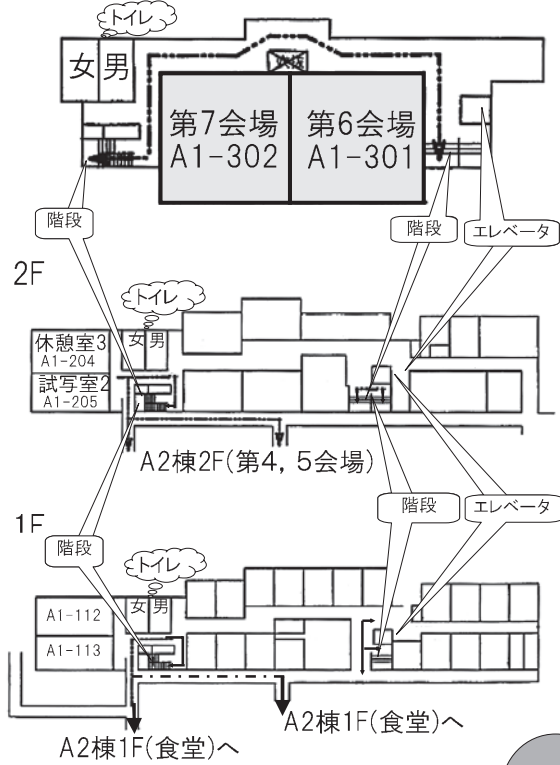
交流センター 2F



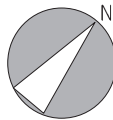
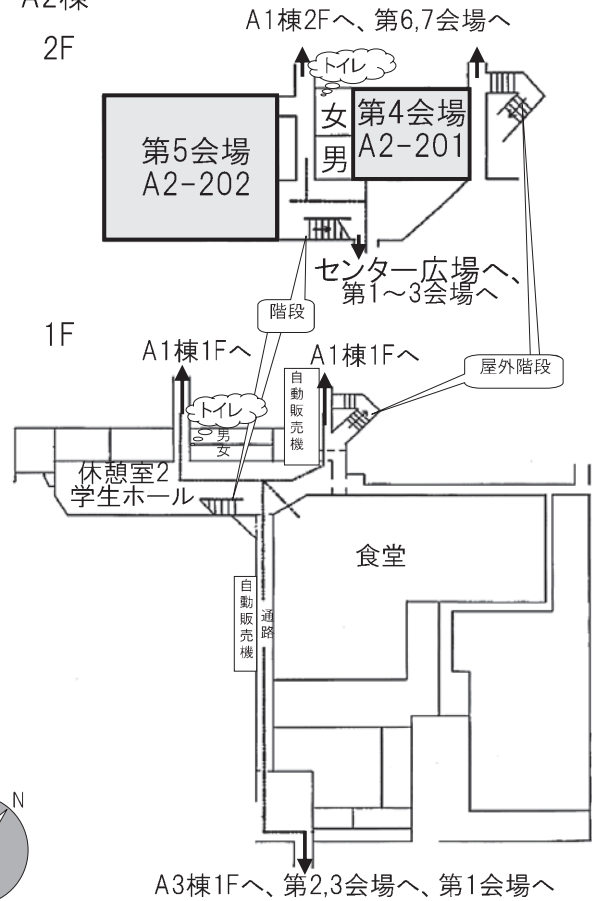
1F



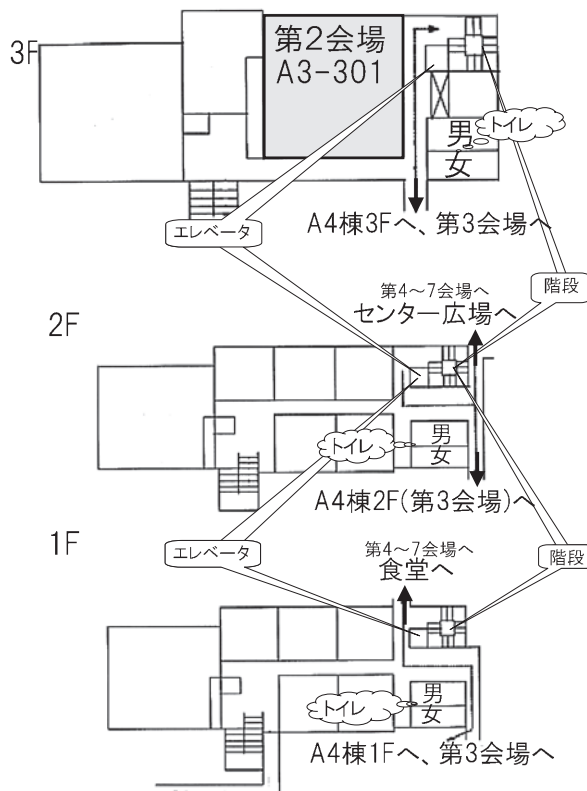
A1棟
3F



A2棟
2F



A3棟



A4棟

